

## 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 5 月 26 日  
東京電力株式会社

## &lt; 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 &gt; (5/26 11:00 時点)

| 号機  | 注水状況      |                                | 原子炉压力容器<br>下部温度 | 原子炉格納容器<br>圧力 | 原子炉格納容器<br>水素濃度 |
|-----|-----------|--------------------------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心ブレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h | 21.9            | 3.8 kPa g     | A系： 0.00 vol%   |
|     |           | 給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h    |                 |               | B系： 0.00 vol%   |
| 2号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h | 31.4            | 6.25 kPa g    | A系： 0.03 Vol%   |
|     |           | 給水系：約 1.7 m <sup>3</sup> /h    |                 |               | B系： 0.03 Vol%   |
| 3号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h | 28.8            | 0.22 kPa g    | A系： 0.05 Vol%   |
|     |           | 給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h    |                 |               | B系： 0.04 Vol%   |

## 【2号機】

- ・H25/8 原子炉格納容器(PCV)内部調査の実施に合わせ、温度計の設置作業を行い、温度計8個(1本のケーブルに直列に取付)のうち、2個は予定された位置で温度測定が可能になり、保安規定第 138 条(格納容器内温度)の監視計器:PCV温度(TE-16-007、008)として運用したが、残り6個の温度計(TE-16-001~006)は PCV 内の構造物に干渉し、予定された位置での温度測定ができず、結果的にPCV内気相部の温度を測定している状況となっていた。
- ・H26/5/15 8:35 PCV 内の構造物に干渉した原因が温度計挿入時の回転操作にあることを確認し、温度計再設置の作業ステップを確立したので、この6個の温度計を当初予定していた位置(PCV内気中部及び水中部)への再設置する作業の一環としてPCV温度(TE-16-007、008)を監視用温度計から除外。なお、再設置作業期間中は他の計器(既設PCV監視温度計5個)により、冷却状態の監視を行う。
- 5/20~22 6個の温度計についてねじれを解消し、当初予定していた位置(PCV内気中部および水中部)へ再設置する作業を実施。ねじれ解消の兆候は確認されたが、計画位置への設置判断が明確に確認されなかった。
- 5/26~ 既設計器の引き抜き、新規品の再設置作業実施中。

## &lt; 2. 使用済燃料プールの状況 &gt; (5/26 11:00 時点)

| 号機  | 冷却方法     | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 22.5 °C     |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 20.2 °C     |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 20.1 °C     |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 21.5 °C     |

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

## 【3号機】

- ・H26/4/19~ 使用済燃料プール内瓦礫撤去作業のうち、燃料交換機本体撤去作業を実施。
  - 4/23~ 使用済燃料プール循環冷却系については、使用済燃料プール内の燃料交換機本体撤去作業に伴い、4/23~6月上旬の間、原則毎週月曜日 7:00~土曜日 16:00 の間停止予定(停止時間は最長で 129 時間、毎週土曜日 16:00~月曜日 7:00 の間は運転予定)。また、水温は運転上の制限値 65°Cに十分な余裕を持った 45°Cを超えることがないよう、同冷却系停止前のプール水温度を 29°C以下として管理する。
- <最新の作業実績>  
5/17 11:07 冷却系起動(起動後の温度:24.4°C)

## &lt; 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 &gt;

| 号機  | 排出元 →         | 移送先                  | 移送状況                       |
|-----|---------------|----------------------|----------------------------|
| 2号機 | 2号機<br>タービン建屋 | → 3号機タービン建屋          | 5/17 9:57 ~ 5/25 9:51 移送実施 |
| 3号機 | 3号機<br>タービン建屋 | → 集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋) | 5/19 10:06 ~ 移送実施中         |

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/26 11:00 時点)

| 設備   | セシウム吸着装置 | 第二セシウム吸着装置(サリー) | 除染装置 | 淡水化装置(逆浸透膜)  | 淡水化装置(蒸発濃縮)  | 多核種除去設備(ALPS) |
|------|----------|-----------------|------|--------------|--------------|---------------|
| 運転状況 | 運転中      | 停止中*1           | 停止中  | 水バランスをみて断続運転 | 水バランスをみて断続運転 | ホット試験中*2      |

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・H26/5/26 6:51 第二セシウム吸着装置(サリー)において、ブースターポンプ取替のため、当該装置を停止。\*

※訂正箇所:「停止期間は6/2までを予定。」と記載しておりましたが、運転再開時期は未定のため削除。

## < 5. その他 >

- ・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。  
4/2 挿入が完了した凍結管について凍結を開始し、4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、4/28凍結管全17本の凍結運転を開始した。今後、1ヶ月程度で凍結の壁を造成していく予定であり(6月頃完了予定)、凍結状況については、測温管にて確認していく。
- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/5/21 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備については、現状における地下水の水質確認を行うため、4/9より揚水ポンプを順次起動し、試験的に地下水バイパス揚水井から地下水の汲み上げを行ってきた。汲み上げた地下水は、一時貯留タンクに貯留した後に水質確認を行っており、当社および第三者機関による分析結果において、運用目標値を満足していたことから、地下水バイパス揚水井から一時貯留タンクに汲み上げていた地下水について、10:25から12:42にかけて海洋への排水を実施。現場の状況について、パトロールを実施し、12:47に漏えい等の異常がないことを確認。なお、排水量については561m<sup>3</sup>。  
同日、この際の南放水口付近およびC排水路排水口付近のサンプリングを実施。南放水口付近の海水については、排水前、排水中、排水終了直後および排水終了1時間後にサンプリングを実施し、有意な変動は確認されていない。C排水路排水口付近の水については、近傍の定例サンプリング箇所の分析結果と比較して、有意な変動は確認されていない。
- ・H26/5/26 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、5/19に一時貯留タンクグループ3-1から採取した水の水質確認を行っていましたが、本日、当社および第三者機関による分析結果において、運用目標値を満足していることを確認したことから、同一貯留タンクに汲み上げていた地下水について、明日(5/27)、海洋へ排水予定。
- ・H26/5/26 9:55頃 固体廃棄物貯蔵庫前において、作業前ミーティングに参加している作業員の全面マスクの片方のフィルタが外れていることを確認。その後、入退域管理棟にて汚染検査を行い放射性物質の付着がないことを確認するとともに、Jヴィレッジにてホールボディカウンタを受検し、内部取り込みのないことを確認。

### 【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

< 最新のサンプリング実績 >

・大きな変動は確認されていない。

### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【焼却工作建屋の水位・焼却工作建屋サブドレン水の分析結果】

### <トピックス>

- H26/4/14～ 集中廃棄物処理施設4カ所（プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、サイトバンク建屋、焼却工作建屋）のうち、3カ所間において、通常使用していない以下の滞留水移送ラインに設置してある仮設ポンプ（4台）が運転中であり、焼却工作建屋地下1階の全域に滞留水が広がっていることが確認されたことから、常設水位計による常時監視ならびに、焼却工作建屋のサブドレン水の分析を強化中。
- H26/5/26 10:52～ 焼却工作建屋滞留水のうち焼却建屋側からプロセス主建屋への移送を開始。また、移送開始後に漏えい等の異常がないことを確認。なお、本移送については、6月上旬頃まで行う予定（平日の日中のみ実施）。

### <最新の水位>

- 各建屋内の滞留水の深さについて大きな変化は確認されていない。  
[5/26の各建屋水深]  
焼却建屋:5/26よりプロセス主建屋へ随時移送中。  
工作建屋:5/16 10:30 回収作業が完了。

### <最新のサンプリング実績>

- 大きな変動は確認されていない。

## 【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

### <地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

### <地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上